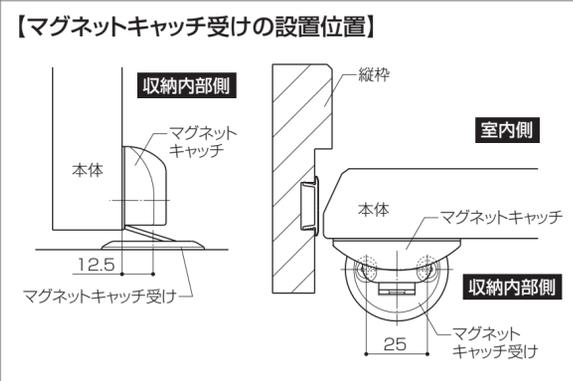
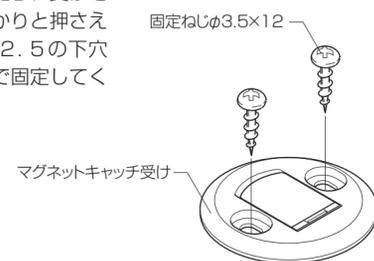




リビング建材 **TOSTEM** クローゼット折れ戸 ノンレールタイプ 取付け説明書

⑧受けの位置が決まりましたら、受けを動かさないように手でしっかりと押さえたまま扉を開き、床にφ2.5の下穴をあけてから同梱のねじで固定してください。



⑨施工用具を床から剥がしてください。

調整

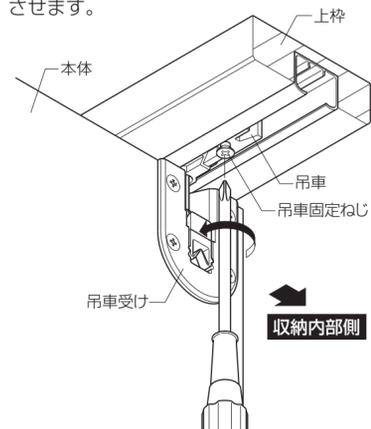
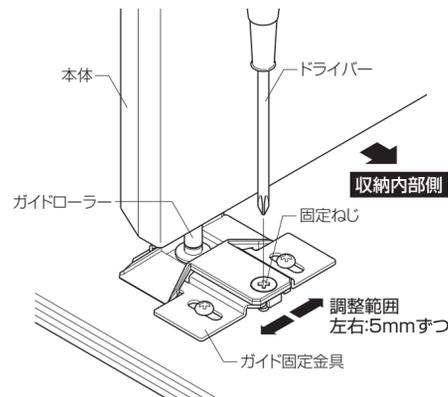
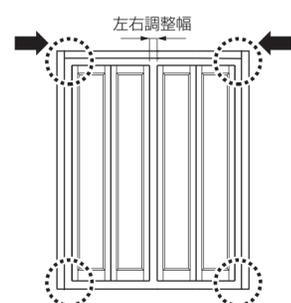
※本体の建付け調整は、枠に同梱の取説を参照ください。

【すき間（左・右）の調整】

●本体間のすき間が大きい場合、吊車およびガイド固定金具で左右調整を行います。

●ガイド固定金具の固定ねじを、ドライバーでゆるめて左右に移動させます。

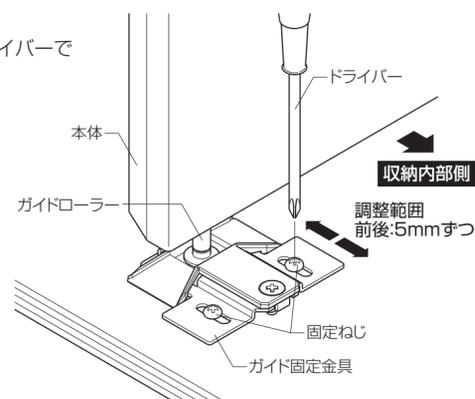
●吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



【すき間（前・後）の調整】

●ガイド固定金具で前後調整を行います。

●ガイド固定金具の2つの固定ねじを、ドライバーでゆるめて前後に移動させます。



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

警告

●心臓ペースメーカーを装着されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。マグネットキャッチから30cm以上離れて操作および使用してください。その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカー又は販売者にご確認ください。

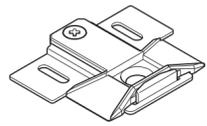
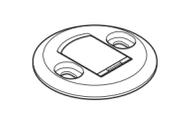
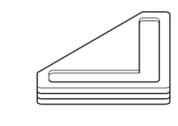
注意

●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと、本体が脱落するおそれがあります。

取付け上のお願い

- 本製品は、木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロアなどの軟質床材への取付けはしないでください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品の脱落などの原因になります。

部品・部材の明細

ガイド固定金具	マグネットキャッチ	マグネットキャッチ受け	施工用具
 (1個入)	 (1個入)	 (1個入)	 (1個入)

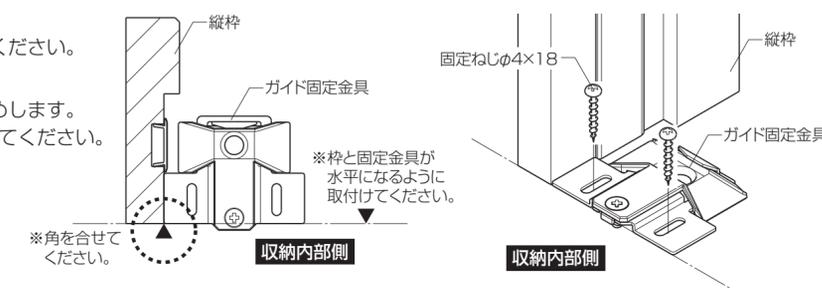
取付け順序

1 枠の組立て・取付け

※枠の組立て・取付け方法は、枠に同梱の説明書を参照ください。

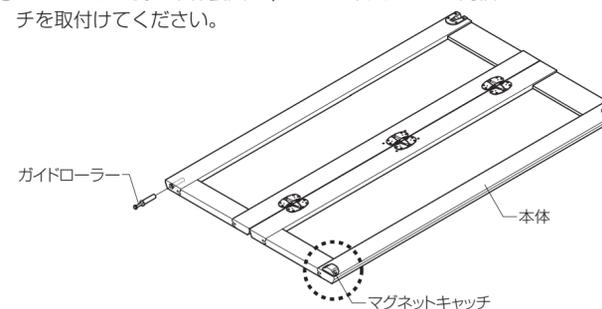
2 ガイド固定金具の取付け

- ①縦枠収納側の端部に合わせてガイド固定金具を位置決めします。
- ②床にφ2.5の下穴をあけてから、同梱のねじで固定してください。



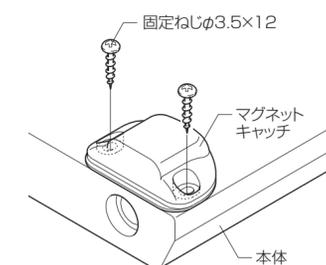
3 本体付け部品の取付け

- ①ガイドローラーを左右どちらか一方の固定する側の本体下部の加工穴に圧入します。※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。
- ②フリーにする側の本体裏面にφ2.5の下穴をあけ、同梱のねじでマグネットキャッチを取付けてください。



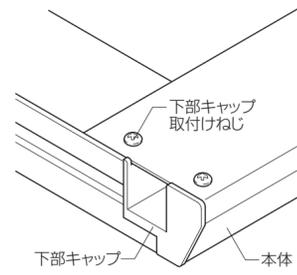
【アルミデザイン以外の場合】

本体の端部に合せて下穴(φ2.5)をあけ、取付けてください。※端部が少し丸くなっているデザインがあります。その場合は、丸くなっている部分より内側に取付けてください。

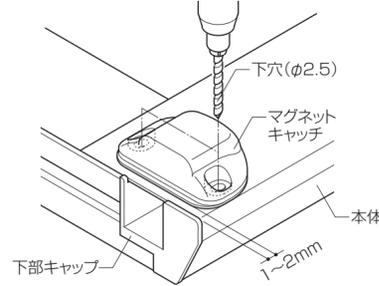


【アルミデザインの場合】

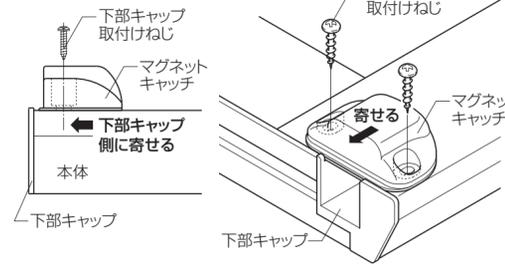
①下部キャップ取付けねじをドライバーで外してください。



②下部キャップから1~2mm程度、マグネットキャッチを離して、下穴(φ2.5)をあけてください。
※すでにあいている下部キャップ取付けねじ穴と重ならない位置に下穴をあけてください。



③マグネットキャッチを固定ねじでねじ止めする際に、マグネットキャッチを下部キャップ側に寄せて取付けてください。



■本体の吊込み

1 施工治具の設置

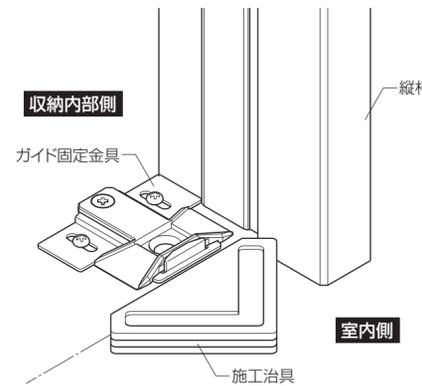
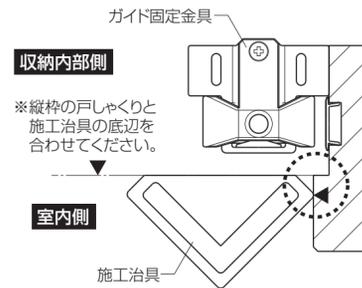
①施工治具に付いている両面テープのリケイ紙を剥がし、床に張付けてください。



※ガイドローラーの軸がバネ式のため、施工治具を高さの位置出しに使用します。

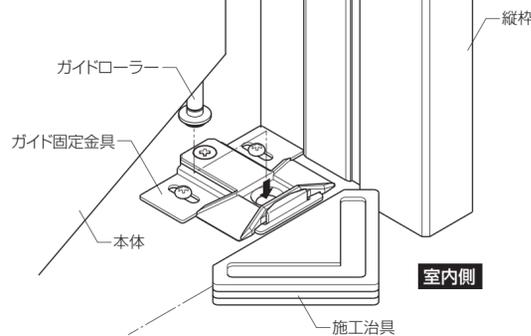
【施工位置】

※五角形の先端を室内側に向け、縦枠に施工治具を付き当てて設置すると本体が吊込みしやすくなります。

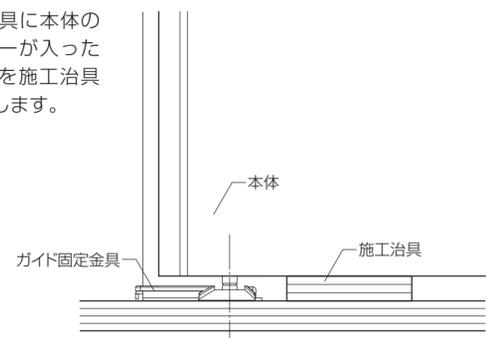


2 本体の吊込み

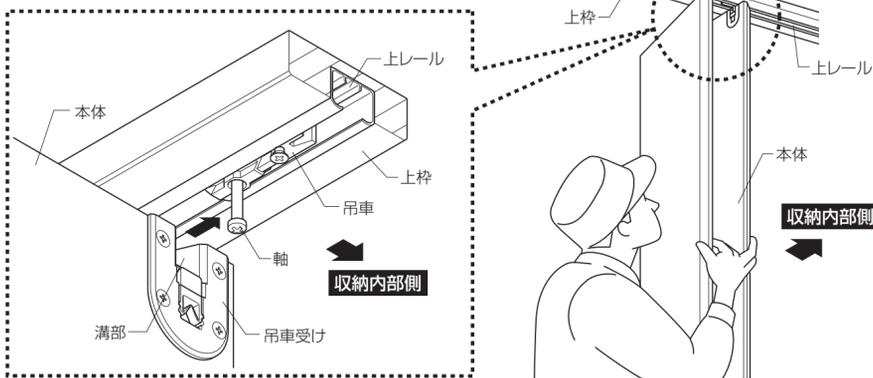
①ガイド固定金具にガイドローラーを落とし込みます。



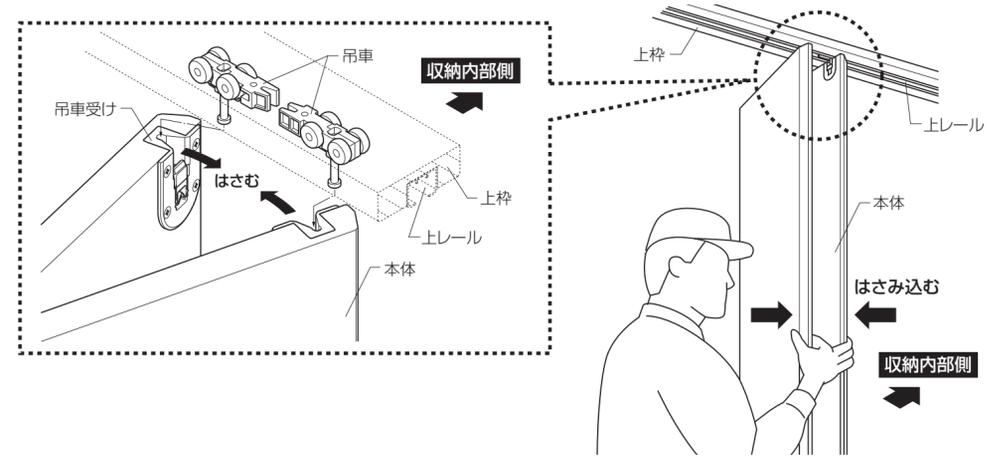
②ガイド固定金具に本体のガイドローラーが入った状態で、本体を施工治具の上に仮置きします。



③本体上部の吊車受けの溝部に、上レールに取付けた吊車の軸を差込みます。



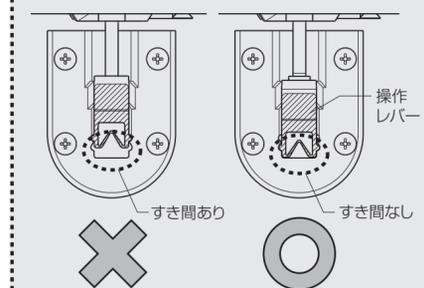
④本体で左右からはさみ込むようにします。



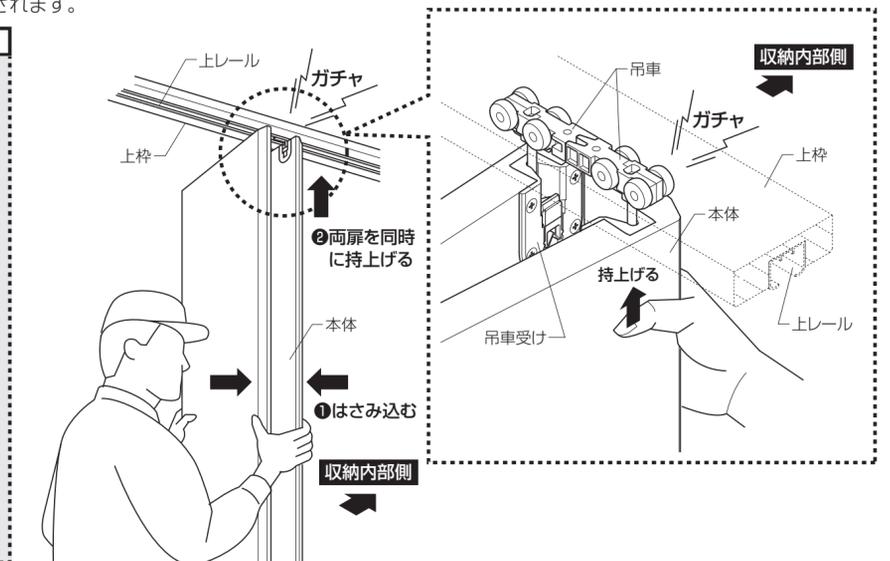
⑤本体をはさみ込んだまま、「ガチャ」と音がするまで上に持上げてください。吊車受けと吊車の軸が固定されます。

▲注意

●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと本体が脱落するおそれがあります。

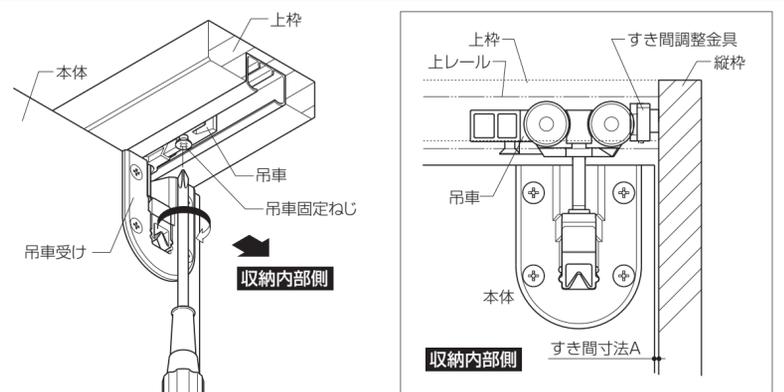


※吊込み完了は、操作レバーが下に下がっている状態です。(すき間なし)



⑥本体の上部を固定します。固定したい本体側の上部吊車に付いている「吊車固定ねじ」を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。

	すき間寸法A (mm)
本体 2P 以外の時	3.5
本体 2P の時	4



⑦本体の吊込みが完了しましたら、扉を閉め その場でマグネットキャッチ受けを取付ける位置を決めます。このとき、本体のマグネットキャッチと受けの中心が合うようにして位置合わせをしてください。

※マグネットキャッチ受けのフラップが本体のマグネットキャッチに当たるように取付けてください。

